

旭川市認知症予防事業 神経心理検査の採点基準について

1 三宅式記銘力検査

- (1) 覚える単語の提示と出題を全て実施者が口頭で行い、参加者は、その回答を解答用紙（記憶課題 A・B）に記入し、誤答数を測定する。
- (2) 回答者が記載する回答は、表記（漢字、ひらがな、カタカナ等）を問わない。

2 Trail Making Test (TMT)

- (1) 最初から最後の番号を結ぶ作業が終了するまでの所要時間（秒数）が得点となる。
- (2) 作業終了後、誤った順序で結んでいた場合は誤り 1 つにつき 10 秒を所要時間に加える。誤りの測定は、誤った番号を結んだ矢印の数を計上する。

ア 注意機能課題 A

例：正答 1→2→3、誤答 1→3→2 の場合は、誤りは 2 つ。

イ 注意機能課題 B

(ア) 例 1：正答 1→あ→2→い、誤答 1→2→あ→いの場合は、誤りは 3 つ。

(イ) 例 2：正答 1→あ→2→い→3→う→4→え→5→お、

誤答 1→あ→2→3→い→4→5→おの場合は、誤りは 4 つ。

- (3) 制限時間を越えた場合は打ち切りとなり、制限時間と同じ秒数を入力する。

例：制限時間が 5 分（300 秒）の場合、300 点を計上する。

- (4) 作業中に打ち切りとなり、結ぶことができなかった番号については、誤りとして扱う。

3 Behavioural Assessment of the Dysexecutive Syndrome (BADS)

- (1) 作業終了までの所要時間（秒数）が得点となる。
- (2) 計測終了後の回答で、経由していない目的地の個数と無視したルール of 個数 1 個につきそれぞれ 10 秒を所要時間に加える。

ア 例 1：目的地である喫茶店とトリ小屋を経由しておらず、一度しか通れないルールである影のついていない道を複数回にわたって通っていた場合は、誤りは 3 個。

※経由していない目的地が 2 個、無視したルールが 1 個により合計 3 個が誤り。

イ 例 2：目的地であるゾウ舎を経由しておらず、一度だけしか乗ることができないルールのラクダに複数回乗り、最後に広場に行くルールであるが異なる場所で終了していた場合は、誤りは 3 個。

※経由していない目的地が 1 個、無視したルールが 2 個により、誤りは 3 個。

- (3) 制限時間を越えた場合は打ち切りとなり、制限時間と同じ秒数を入力する。

例：制限時間が 5 分（300 秒）の場合、300 点を計上する。

- (4) 作業中に打ち切りとなり、経由できなかった目的地、無視したルールについては、誤りとして扱う。